社会的事象についての見方・考え方を深める支援のあり方
～学習を積み重ね関連づけられるワークシートの工夫を通して～

小学校社会科班　星　寛子（小学校教諭）

身につけさせたい力

☆調べたことの相違点や共通点を比較して、社会的事象の特色を捉える力
☆社会的事象相互の直接的・間接的関連を考える力

課題解決策

☆単元全体を総括し、見通せるワークシートの工夫
☆課題に対する自分の考えをもち、表現できる場と時間の保障

実践①　単元名　『高崎市の様子』

A3版のシートに、大小2つ高崎の白地図（大：鉄道、幹線道路を記入したもの、小：土地の高低を表すラインを記入したもの）に、学習内容を重ねていくことで、高崎市の土地利用の違い、土地の高低との関連に気づかせる。

☆2つの地図を見比べることにより、高崎市の土地の高低と土地利用の関連に気づかせることができた。
☆土地利用の様子を重ねていくとこで、高崎市の土地利用の場所による違いや特徴に気づかせることができた。

実践②　単元名『おかしを作る工場』

A3版のシートにラスク工場の原料の種類・入手→工場での生産過程・工夫→製品の出荷・販売の流れで、時間ごとにつなげていくことにより、生産活動・販売活動の工夫を関連づけて考えさせる。

☆　原料の入手→工場での工程・工夫→製品の出荷の流れを関連づけながら理解させることができた。

成果と課題

☆一枚のワークシートに単元全体の学習を積み重ねることにより、学習を再構成しながら総括し、概念を形成していくことができた。ワークシートの構成の仕方、記入する内容項目の精選等、さらに考えていきたい。
☆個で考えたことを話合いにより関わらせることで、視野を広げ深めることができた。考えを出し合う中で、思考が整理でき、自分の考えを見つめ直し、深めることができた。

担当指導主事　義務教育研究係　飯沼　良夫